第13講 【系統地理編】生活文化，民族・宗教
PART 1 文化と環境，世界の衣食住

Chapter 1　文化と環境，世界の衣服文化

目標
インドの自然環境と衣服文化を，関連づけて理解しよう。
西アジアのイスラーム圏における女性の服装の特徴を理解しよう。

1　文化とは

・**文化**：ある地域において世代を超えて継承される**知識**や**技術**，**生活習慣**のこと。
→特に**衣食住**のような〔　　　　　　　　〕は，地域の**自然環境**や**社会環境**の影響を受けて形づくられていく。
・一方で，欧米の世界進出や発展途上地域の近代化などにより，現在では世界全体での**文化の画一化**も進んでいる。

2　世界の衣服文化

・衣服文化は，地域の**気候**など〔　　　　　　　　〕に対応したものが多く見られる。

1. **自然環境**に大きな影響を受けた衣服
・インド：**高温**で〔　　　　〕の多い気候のため，**木綿**や**麻**など**通気性・吸湿性**の良い素材を使用し，ゆったりとした衣服が見られる。女性が着用する〔　　　　　〕など。
・アンデス高原：**直射日光が強く**，**気温日較差の大きい気候**のため，つばの広い帽子や**アルパカ**の毛で織った〔　　　　　　　〕などを着用する。
・極地域：**イヌイット**は，**寒冷**な気候に対応するため動物の〔　　　　〕を用いた**保温性・保湿性**の良い衣服を着用している。

サリー

ポンチョ

動物の毛皮を着るイヌイット

2. **社会環境**の影響を大きく受けた衣服

・**西アジア**：〔　　　　　　　　　　〕の影響が強い地域。

→女性は外出の際みだりに肌や頭部を見せないという，**イスラームの戒律**を反映した衣服を着用する。

→国・地域によって解釈に違いが見られ，サウジアラビアでは**アバヤ**という全身を覆うローブを着ることが義務づけられている。イランでは**チャドル**，トルコなどでは顔を覆うスカーフなど。

・〔　　　　　　　　〕：政策によって**伝統文化**が尊重されており，日常生活の中で民族固有の伝統的な衣装を着用する。

・中国：中華民国時代に考案されたカーキ色や紺色の正装が，政府式典などの公式の場で着用されている。

イスラーム圏の女性の服装

ブータンの伝統的衣装

中国の人民服

3　画一化される衣服文化

・〔　　　　　　　　〕以降，衣服の**大量生産**が始まり，**画一化**された衣服が広い範囲に流通するようになった。また，欧米の**世界進出**や**植民地支配**により，その文化が世界中に広まった。戦後には世界的な**貿易**の活発化や ICT の発達により，グローバル化が一層進展。

→〔　　　　　　〕や**ネクタイ**のようなフォーマルな衣服のみでなく，アメリカ合衆国の作業着だった〔　　　　　　　　〕のような服装も世界中で一般的となる。

・現在はさらなる工業化によって安価で機能性の高い衣服が大量生産され，より広範囲に流通するようになっている。

まとめ

高温多湿の気候のため，通気性・吸湿性の良い素材を使用し，ゆったりとした衣服を着用する。

みだりに肌を出さず，戒律で定められた衣服を着用する。

Chapter 2　世界の食文化・住居

目標

食文化を特徴づける要素を挙げてみよう。

地域の自然環境と，建築材の関連を考えよう。

1　世界の食文化

・ある地域の**食文化**は，地域で栽培される〔　　　　　〕や**イモ類**を中心として形成される。

　→地域に即した方法で〔　　　　　〕することにより，食文化に特徴が生まれる。

・主食だけでなく，**調味料**も地域の食文化を形成する要素の一つ。

・農業が困難な地域では〔　　　　　〕や**牧畜**によって食料を得る。

　→モンゴルでは**羊**や**馬**の遊牧，北極圏では**トナカイ**の遊牧や**アザラシ**の狩猟など。

穀物など	主食とする主な地域	説明
米	モンスーンアジア	・〔　　　　　　　　〕な地域で主食となる。 ・炊いたり蒸したりすることが多いが，粉末（**米粉**）にして**ビーフン**（中国）や〔　　　　　　　〕（ベトナム）などの麺類に加工されることもある。
小麦	西アジア，ヨーロッパ，北アメリカ，オーストラリア	・降水量がやや少ない地域で主食となる。 ・主に**パン**や〔　　　　　　　〕に加工される。 ・ヨーロッパ諸国の世界進出によって，新大陸にもパン食の文化が広がった。
トウモロコシ	ラテンアメリカやアフリカ	・原産地の〔　　　　　　　　〕では，トウモロコシ粉を薄くのばした**トルティーヤ**が食される。 ・アフリカでは，**ウガリ**として食べられている。
イモ類	熱帯地域やアンデス地方	・〔　　　　　　　　　〕はアフリカなどの熱帯地域における，**焼畑農業**などで栽培される。毒抜きが必要である。 ・**ヤムイモ・タロイモ**は南太平洋の島嶼部でよく食される。 ・**ジャガイモ**は〔　　　　　　　　〕地方が原産だが，大航海時代以降ヨーロッパへも広がる。

2 世界の住居

・地域の**自然環境**によって用いられる**建築材**が異なり，住居に特徴が生まれる。

→木材・土・石以外にも，**モンゴル**では木の骨組みにドーム状の屋根を組み合わせた移動式の住居（モンゴルでは〔　　　　〕，中国では**パオ**）が，**北極圏**では圧縮した氷のブロックを積み上げた〔　　　　　　　〕が見られる。

ゲル（パオ）

イグルー

建築材	主に見られる地域	説明
木材	熱帯や温帯，亜寒帯	・高温多雨の**熱帯地域**では，風通しが良く地面の熱や湿気を室内に伝えづらい〔　　　　　〕の家屋が見られる。 ・ヨーロッパでは骨組みは木でつくり，壁は漆喰などで固める**木骨づくり**の家屋が見られる。
土	**乾燥地域**	・天日乾燥させた〔　　　　　　　　　　〕を用いた家屋。 ・外気を伝えないため，壁は厚く，窓などの開口部は数が少なく，小さくつくられている。
石	**南ヨーロッパ**	・夏の強い**太陽光を反射**させるため，地域に豊富な**石灰石**や**大理石**を用い，壁は〔　　〕色に塗られている。

高床式の住居

日干しレンガの住居

白壁の住居

まとめ

栽培される農作物や，加工方法，調味料などにより，食文化に特徴が生まれる。

森林の少ない乾燥地域では日干しレンガ，北極圏では氷などを使用している。

第13講　PART 1　確認問題

1　インドで女性が着用する，通気性・吸湿性が良い素材でゆったりとした衣服はどれか。

①　アオザイ　②　サリー
③　チマ・チョゴリ　④　チャドル

2　ポンチョはどの地域の伝統的な衣服か。

①　アンデス高原　②　ヒマラヤ地方
③　メキシコ高原　④　モンゴル高原

3　西アジアで女性が外出の際に肌や顔を覆うのは，どの宗教の戒律によるものか。

①　イスラーム　②　シーク教
③　ヒンドゥー教　④　仏教

4　衣服の大量生産が始まったのはいつごろか。

①　大航海時代以降　②　産業革命以降
③　第一次世界大戦以降　④　第二次世界大戦以降

5　世界の食文化について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

①　米は米粉にして，ビーフンやフォーなどの麺類に加工されることもある。
②　小麦はヨーロッパなど，降水量がやや少ない地域で主食となっている。
③　トウモロコシは，アフリカではウガリとして食べられている。
④　ヤムイモ・タロイモはラテンアメリカの国々で主食の一つとなっている。

6 トウモロコシの原産地で，トルティーヤが国民食である国はどこか。

① アルゼンチン　② キューバ
③ ブラジル　④ メキシコ

7 モンゴルにおける移動式住居の名称はどれか。

① イグルー　② ゲル
③ シャレー　④ ユルト

8 日干しレンガを用いた家屋が見られる地域はどこか。

① 熱帯地域　② 乾燥地域
③ 温帯地域　④ 亜寒帯地域

第 13 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②　インドで女性が着用する，通気性・吸湿性が良い素材でゆったりとした衣服を**サリー**という。アオザイはベトナム，チマ･チョゴリは韓国，チャドルはイランの衣服である。

2 解答：①　**ポンチョ**は**アンデス高原**の衣服で，気温の日較差が大きい気候に対応する。急に冷え込む夜には毛布代わりにもなる。

3 解答：①　**イスラーム**では，女性は夫などの身内以外には肌を見せないことが戒律で規定されている。

4 解答：②　衣服の大量生産は，機械による綿工業が発展した 18 世紀後半の**産業革命**以降に始まった。

5 解答：④　**ヤムイモ・タロイモ**は，**南太平洋の島嶼部**などでよく食される。

6 解答：④　トウモロコシの粉を薄い円盤状にして焼いた**トルティーヤ**は，**メキシコ**の国民食である。

7 解答：②　モンゴルにおける移動式住居を**ゲル**という。ゲルは，テント状の住居であり，移動の多い遊牧に適する。

8 解答：②　**日干しレンガ**を用いた家屋が見られる地域は，森林の少ない**乾燥地域**である。